

スマートジャパンの運用状況

日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型) 愛称 スマートジャパン
追加型投信/国内/株式

2016年4月12日

- ◆ 当ファンドは、2016年4月6日に第4期決算を迎えました。当レポートでは、第4期の投資環境および基準価額の推移等について、ご報告いたします。
- ◆ 今後も、主にROE（自己資本利益率）や売上高営業利益率などの収益性を表す財務指標の水準、方向性、変化等に注目した銘柄の選別を進め、ファンドのパフォーマンス向上に努めてまいります。

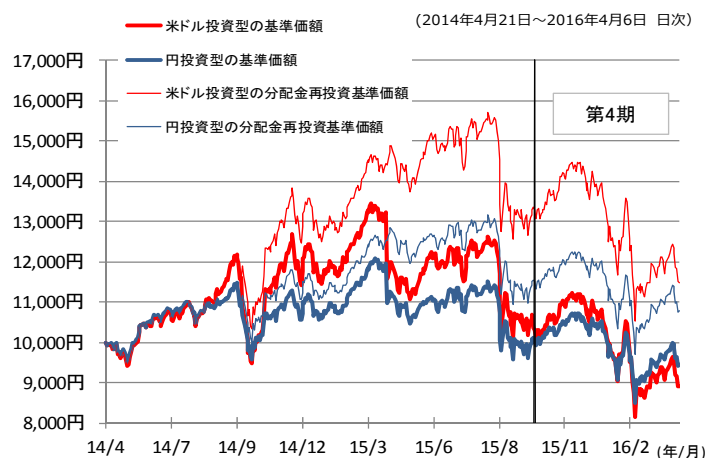
1. 第4期の投資環境と基準価額の推移

国内株式市場は、欧州中央銀行(ECB)のドラギ総裁が追加金融緩和を示唆したことや中国人民銀行が利下げを発表したことなどが支援材料となり、期首の2015年10月7日から12月上旬にかけて上昇しました。その後期末にかけては、世界的に経済成長率の鈍化が危惧される中、米国で利上げが実施されたことで投資家のリスク回避の姿勢が強まり、軟調に推移しました。

外国為替市場では、米国の利上げ観測などから、期首から12月前半にかけて米ドルが対円で123円台にまで上昇しました。その後期末にかけては、世界的な経済成長率の鈍化が懸念される中、110円前後にまで急速に米ドル安円高が進行しました。

このような市場環境のなか、第4期の基準価額は、米ドル投資型は期首の10,356円から期末には8,897円となり、円投資型は期首の10,106円から期末には9,446円となりました。

設定来の基準価額の推移



2. 基準価額に寄与した主な業種・銘柄 (第4期)

主要投資対象である「日本優良成長株マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

業種別では、事業展開や業績面において外部環境の変化による影響が相対的に小さく、ROEや売上高営業利益率の持続的な上昇が期待された医薬品や食料品などが基準価額にプラスに寄与しました。一方、世界的な経済成長率の鈍化が懸念されたことや米ドル安円高が進行したことなどをを受け業績に対する懸念が高まった輸送用機器、日銀のマイナス金利導入により、預貸金利鞘の縮小が懸念された銀行業などが基準価額にマイナスに寄与しました。

銘柄別では、がん治療向け大型新薬「オプジーボ」の適用範囲拡大による利益成長が期待された小野薬品工業などが基準価額にプラスに寄与しました。一方、米ドル安円高の進行により2016年度の業績が伸び悩むことが懸念された日産自動車などが基準価額にマイナスに寄与しました。

基準価額に寄与した主な業種・銘柄

プラス寄与業種

	業種名
1	医薬品
2	食料品
3	情報・通信業
4	不動産業
5	サービス業

マイナス寄与業種

	業種名
1	輸送用機器
2	銀行業
3	その他金融業
4	化学
5	小売業

(期間) 第4期 2015年10月7日～2016年4月6日

プラス寄与銘柄

	銘柄名
1	小野薬品工業
2	ペプチドリーム
3	いちごグループホールディングス
4	ダブル・スコープ
5	日本たばこ産業

マイナス寄与銘柄

	銘柄名
1	日産自動車
2	日立キャピタル
3	オリエンタルコーポレーション
4	みずほフィナンシャルグループ
5	クボタ

(期間) 第4期 2015年10月7日～2016年4月6日

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型) 愛称 スマートジャパン
追加型投信／国内／株式

運用状況

(作成基準日：2016年4月6日)

	米ドル投資型	円投資型
基準価額	8,897円	9,446円

※基準価額は1万口当たりです。

設定来の分配金の推移			
決算期	決算日	米ドル投資型	円投資型
第1期	2014/10/6	1,000円	500円
第2期	2015/4/6	1,600円	1,000円
第3期	2015/10/6	400円	0円
第4期	2016/4/6	0円	0円
設定来合計		3,000円	1,500円

※分配金は1万口当たり、税引前です。

	米ドル投資型	円投資型
株式組入比率	91.8%	90.4%
マザーファンド	96.7%	95.3%
為替予約比率	94.6%	---

※株式組入比率は、日本優良成長株マザーファンドを通じた株式の実質組入比率です。

※為替予約比率は、純資産総額に対する円売り米ドル買いの外国為替予約取引額の比率です。

日本優良成長株マザーファンド	
株式組入比率	94.8%
組入銘柄数	55銘柄

※株式組入比率は日本優良成長株マザーファンドにおける株式の組入比率です。

組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	情報・通信業	10.2 %
2	サービス業	9.2 %
3	電気機器	9.0 %
4	医薬品	7.5 %
5	精密機器	7.2 %
6	食料品	7.0 %
7	建設業	6.9 %
8	機械	6.7 %
9	化学	5.2 %
10	陸運業	4.0 %

※業種、銘柄の各構成比は、日本優良成長株マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

組入上位10銘柄

順位	銘柄名	構成比
1	日本電信電話	6.1 %
2	日本たばこ産業	5.3 %
3	小野薬品工業	4.7 %
4	キーエンス	4.3 %
5	日産自動車	3.4 %
6	カカクコム	3.2 %
7	ホシザキ電機	2.8 %
8	ニコン	2.6 %
9	相鉄ホールディングス	2.4 %
10	テルモ	2.3 %

スマートジャパン ファンドの特色

- 日本優良成長株マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として、わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます）株式のうち、収益性に優れ、成長の持続が期待される企業の株式に実質的に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
- 投資候補銘柄の選定にあたっては、主にROE（自己資本利益率）や売上高営業利益率などの収益性を表す財務指標の水準、方向性、変化等に着目します。
- ポートフォリオの構築にあたっては、定量分析、定性分析、バリュエーション、業種別比率等を勘案して行います。
- 株式の実質組入比率は高位を保つことを基本とします。
- 「米ドル投資型」については、原則として円売り米ドル買いの外国為替予約取引等を行い、米ドルへの投資効果を享受することを目指します。純資産総額に対する円売り米ドル買いの外国為替予約取引等の額は、原則として高位とすることを基本とします。
- 「円投資型」については、外国為替予約取引等はいりません。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(作成：エクイティ運用部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「日本優良成長株オープン（米ドル投資型）/（円投資型）」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型) 愛称 スマートジャパン
追加型投信/国内/株式

日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、「米ドル投資型」は、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

■ 購入時

購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）

「米ドル投資型」と「円投資型」の各ファンド間でのスイッチング（乗換え）により、同一の販売会社でファンドを買付ける場合には、購入時手数料の一部または全部の割引を受けられる場合があります。
詳しくは販売会社にご確認ください。

■ 換金時 換金手数料：ありません。

信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中 運用管理費用（信託報酬）：純資産総額×年率1.6632%（税抜1.54%）
- その他費用・手数料 監査費用：純資産総額×年率0.0108%（税抜0.01%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社について

-2016年4月12日現在-

商 号	登 録 番 号	加 入 協 会			
		日 本 証 券 業 協 会	一 般 社 団 法 人 日 本 投 資 顧 問 業 協 会	一 般 社 団 法 人 金 融 先 物 取 引 業 協 会	一 般 社 団 法 人 第 二 種 金 融 商 品 取 引 業 協 会
(金 融 商 品 取 引 業 者)					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長（金商）第52号	○	○	○	
今村証券株式会社	北陸財務局長（金商）第3号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
カブドットコム証券株式会社	関東財務局長（金商）第61号	○		○	
静岡東海証券株式会社	東海財務局長（金商）第8号	○			
西日本シティ銀行証券株式会社	福岡財務支局長（金商）第75号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長（金商）第29号	○			
水戸証券株式会社	関東財務局長（金商）第181号	○	○		

＜本資料に関するお問い合わせ先＞ 岡三アセットマネジメント株式会社 カスタマーサービス部
フリーダイヤル 0120-048-214（9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く）